| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 講義名 | （対面）キャリア実践論★ | | | | |
| 科目区分 | キャリア科目 | | | | |
| 担当教員 | 前川　明 | | | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 ２時限 | | 授業形態 | | |
| | 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメン／<br>2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング／2014年度 サービス産業学部 | | | | |
| 履修開始年次 | ３年生 | 単位数 | 2 | 備考 | |

## 主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多彩なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。
就活は３年生の後期から準備が始まり、未決定の場合は卒業まで続く。就活対象者は就職活動だけではなく、学業（卒業単位の取得）にも、しっかりと取り組む必要があり、授業は、進路決定のことを考えるだけでなく、どのように残り少ない大学生活を過ごすのか、大学生のキャリアデザインの締めくくりを行うものである。

## 到達目標

到達目標は、納得のゆく進路決定を行うことである。
・卒業の単位を取得するためにどのような大学生活を送るのか計画を立てる。
・自分の希望する進路はどのようなものか考え決定する。
・自分の希望する進路を実現するために社会の現実を理解する。

## 提出課題

個人と相談の上、提出課題を決めます。

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、課題の講評を個別に伝える。

## 評価の基準

平常点、提出課題の評価65%、最終レポート試験35%

## 履修にあたっての注意・助言他

4年生の進路未決定者向けの授業です。就職が決まっていない、みんなと同じ就職活動では就職が決まりにくいなど進路決定に迷っている学生の履修を歓迎します。

## 教科書

.使用しない.

## プリント資料及び参考文献

必要に応じて資料を配布します。

## 授業計画

回数 授業計画
1 イントロダクション：就職環境の現状と課題
2 就職活動の準備
3 社会を取り巻く環境
4 企業を取り巻く環境
5 業界研究・企業研究
6 企業研究・仕事研究
7 筆記試験（1）
8 筆記試験（2）
9 自己分析
10 エントリーシート・履歴書
11 グループディスカッション
12 面接①
13 面接②
14 就職活動の戦略の立て方
15 まとめ

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|---|---|
| | ア：PBL（課題解決型学習） |
| | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート |
| | エ：グループワーク |
| | オ：プレゼンテーション |
| | カ：実習、フィールドワーク |

## 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

就職活動をするために、授業内での宿題や課題だけでなく　①自己分析　②業界地図や就職四季報、企業HP等での企業研究・仕事研究　③SPIなどの筆記試験対策　以上①～③について１日１時間は時間をかけて準備すること。　具体的な方法は授業内で紹介していく。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

## 実務経験の有無及び活用

実務経験あり
小売業での販売職（3年）、洋菓子メーカーでの人事（採用・教育）（5年）を経て、その後、15年間、キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援（面接代行）に従事している。その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説を行う。

## 備考